

あくたれラルフ

ジャック・ガントス 作

ニコール・ルーベル 絵

いしいももこ 訳

童話館出版 1994年 1500円



ラルフはセイラの猫です。ブランコのさがっている枝を切ったり、おとうさんの大事なパイプでしゃぼんだまをふいたり、あくたれをします。でも、セイラはラルフが好きでした。ある日サーカスがきた時、あまりのいたずらぶりにラルフはサーカスに置き去りにされてしまいます。サーカスを逃げ出したラルフは、なまごみねつにかけ、さびしくて泣きだしました。そこにセイラが探しにきて…。明るい色彩のコミカルな絵も魅力的です。

あたしもびょうきになりたいな！

フランツ＝ブランデンベルク 作

アリキ＝ブランデンベルク 絵

ふくもとゆみこ 訳

偕成社 1983年 1200円



こねこのエドワードが病気になりました。家族のみんながエドワードが良くなるように、いろいろと大事にしてくれます。学校に行ったり、ピアノを練習したりしなければならぬエリザベスはうらやましくてたまりません。自分も病気になりたいとエリザベスが思っていると…。子どもの気持ちをもそのまま代弁したような絵本です。こねこたちの表情がユーモラスに描かれています。

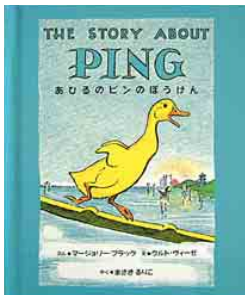
あひるのピンのぼうけん

マージョリー・フラック 文

クルト・ヴィーゼ 絵

まさきりこ 訳

瑞雲舎 1994年 1262円



むかし、ピンというあひるのこがたくさんの家族と「かしこい目」という船にすんでいました。夕方、船に戻るのが最後になるとお尻をぶたれます。ある日、最後になったピンはぶたれるのが嫌で、船に戻りませんでした。ひとりぼっちになったピンは、魚をさがして川を下っているうちに、男の子に捕まってしまう…。ピンの冒険が、中国の揚子江を行きかう船やそこで暮らす人々の様子とともに、力強い線と美しい色あいで描かれています。